



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月4日

上場会社名 三菱食品 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7451 URL <http://www.mitsubishi-shokuhin.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森山 透
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山川 幸樹 TEL 03-3767-5204
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	587,670	0.5	3,277	33.0	3,654	18.7	2,326	△15.9
28年3月期第1四半期	584,953	1.3	2,464	63.5	3,077	44.2	2,765	107.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 1,767百万円 (△47.4%) 28年3月期第1四半期 3,358百万円 (41.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	40.71	—
28年3月期第1四半期	48.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	590,777	148,255	25.1	2,593.81
28年3月期	599,394	148,145	24.7	2,591.98

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 148,206百万円 28年3月期 148,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	21.00	—	29.00	50.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,189,000	△0.8	7,000	△3.4	7,500	△8.8	4,800	△29.1	84.01
通期	2,395,000	0.5	17,400	3.0	18,500	1.5	11,800	△5.5	206.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	58,125,490株	28年3月期	58,125,490株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	987,191株	28年3月期	987,191株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	57,138,299株	28年3月期1Q	57,139,713株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
(1) 品種別売上高明細表	9
(2) 業態別売上高明細表	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策により緩やかな景気回復基調にありましたが、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念や4月中旬に発生した熊本地震の影響等により、力強さに欠ける状況が続きました。

食品流通業界においては、生活者の節約志向が長引くなか、消費者マインドに足踏みがみられる一方で、肉食需要の高まりに伴い惣菜関連商材が伸長する等、一部で明るい兆しもみられました。

このような状況下、当社グループは本年度からの新しい指針となる「経営方針2020」を発表し、2020年に向けて目指す姿として「“より良い”を積み重ねて、日本の食を支える」を掲げました。従来の食品卸の枠を超え、エリア・業態・機能の面で多様性を有する「総合食品商社」を目指し、事業領域の拡大に向けた新しいチャレンジに取り組み始めました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は5,876億70百万円(前年同期比0.5%増加)、営業利益は32億77百万円(前年同期比33.0%増加)、経常利益は36億54百万円(前年同期比18.7%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第1四半期連結累計期間の投資有価証券売却益の反動減等により23億26百万円(前年同期比15.9%減少)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の利益又は損失の算定方法により組替えた数値で比較しております。報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましては「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

①加工食品事業

売上高は、コンビニエンスストア、通販等との取引が伸長したことや、品種別で麺類等が好調であったことから増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の増加等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は1,834億64百万円(前年同期比0.5%増加)、営業利益は6億40百万円(前年同期比126.7%増加)となりました。

②低温食品事業

売上高は、コンビニエンスストア等を中心に取引が総じて堅調に推移したことにより増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加に伴い販管費は増加したものの、売上総利益の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は2,333億96百万円(前年同期比2.1%増加)、営業利益は24億46百万円(前年同期比9.0%増加)となりました。

③酒類事業

売上高は、昨年9月末の子会社の異動(株式譲渡)の影響等により減少いたしました。利益面につきましては、販管費削減を進めたこと等により、前年同期と比べ改善いたしました。

以上の結果、売上高は1,022億46百万円(前年同期比5.2%減少)、営業利益は△24百万円(前年同期より13百万円の改善)となりました。

④菓子事業

売上高は、コンビニエンスストア、ドラッグストア等を中心に取引が総じて堅調に推移したことや、品種別で健康志向を背景にチョコレートやシリアル等が引き続き伸長したこと等により増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の増加等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は680億78百万円(前年同期比4.0%増加)、営業利益は3億12百万円(前年同期比192.2%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が86億16百万円、負債が87億27百万円それぞれ減少し、純資産が1億10百万円増加いたしました。

総資産及び負債の減少の主な要因は、総資産においては「短期貸付金」の減少81億1百万円によるものであり、負債においては未払金を主とした流動負債の「その他」の減少97億84百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成28年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	327	309
受取手形及び売掛金	278,628	281,514
商品及び製品	53,711	55,205
原材料及び貯蔵品	50	36
短期貸付金	91,911	83,810
その他	55,126	52,429
貸倒引当金	△34	△31
流動資産合計	479,721	473,273
固定資産		
有形固定資産	62,290	60,935
無形固定資産		
のれん	3,140	3,065
その他	11,538	12,131
無形固定資産合計	14,679	15,196
投資その他の資産		
投資有価証券	24,454	23,538
その他	18,281	17,866
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	42,702	41,371
固定資産合計	119,672	117,503
資産合計	599,394	590,777
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	371,099	375,109
引当金	2,618	98
その他	57,575	47,790
流動負債合計	431,293	422,998
固定負債		
役員退職慰労引当金	58	29
退職給付に係る負債	10,826	10,829
その他	9,070	8,664
固定負債合計	19,955	19,523
負債合計	451,249	442,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	33,387	33,387
利益剰余金	100,844	101,513
自己株式	△2,556	△2,556
株主資本合計	142,305	142,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,292	5,712
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△26	△35
退職給付に係る調整累計額	△469	△445
その他の包括利益累計額合計	5,795	5,231
非支配株主持分	43	49
純資産合計	148,145	148,255
負債純資産合計	599,394	590,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	584,953	587,670
売上原価	544,979	546,936
売上総利益	39,974	40,734
販売費及び一般管理費	37,509	37,456
営業利益	2,464	3,277
営業外収益		
受取利息	34	15
受取配当金	319	230
不動産賃貸料	408	290
その他	333	242
営業外収益合計	1,095	779
営業外費用		
支払利息	34	35
不動産賃貸費用	312	279
その他	134	87
営業外費用合計	482	402
経常利益	3,077	3,654
特別利益		
投資有価証券売却益	1,534	15
固定資産売却益	18	11
その他	0	—
特別利益合計	1,552	27
特別損失		
災害による損失	—	104
投資有価証券売却損	2	22
投資有価証券評価損	159	—
減損損失	333	—
その他	0	13
特別損失合計	496	140
税金等調整前四半期純利益	4,133	3,540
法人税、住民税及び事業税	386	100
法人税等調整額	1,084	1,108
法人税等合計	1,471	1,208
四半期純利益	2,661	2,331
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△103	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,765	2,326

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	2,661	2,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	682	△579
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	—	△6
退職給付に係る調整額	13	23
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△2
その他の包括利益合計	696	△564
四半期包括利益	3,358	1,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,458	1,761
非支配株主に係る四半期包括利益	△99	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	182,487	228,550	107,843	65,457	584,338	614	—	584,953
セグメント間の内部売上 高又は振替高	297	37	133	1	470	2,063	△2,533	—
計	182,784	228,588	107,977	65,459	584,809	2,677	△2,533	584,953
セグメント利益又は損失 (△)	282	2,245	△37	106	2,597	70	△203	2,464

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流関連事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	2,597
「その他」の区分の利益	70
のれんの償却額	△74
全社費用	△128
四半期連結損益計算書の営業利益	2,464

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	183,464	233,396	102,246	68,078	587,186	483	—	587,670
セグメント間の内部売上 高又は振替高	88	38	3	8	137	2,181	△2,319	—
計	183,552	233,434	102,250	68,086	587,324	2,665	△2,319	587,670
セグメント利益又は損失 (△)	640	2,446	△24	312	3,375	77	△175	3,277

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流関連事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額
報告セグメント計	3,375
「その他」の区分の利益	77
のれんの償却額	△74
全社費用	△101
四半期連結損益計算書の営業利益	3,277

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織のセグメント見直しに伴い、従来「加工食品事業」に含まれていた業務用・百貨店向けの一部取引を「酒類事業」に変更しております。

また、報告セグメントごとの業績をより適正に評価管理するため、主に当社の共通コストの配賦基準等を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

4. 補足情報

(1) 品種別売上高明細表

(百万円未満切捨)

品種	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
缶詰・調味料類	67,094	11.5	67,129	11.4	277,113	11.6
麺・乾物類	36,962	6.3	38,013	6.5	156,919	6.6
嗜好品・飲料類	68,139	11.6	67,404	11.5	267,456	11.2
菓子類	66,077	11.3	68,334	11.6	276,089	11.6
冷凍食品類	110,045	18.8	116,412	19.8	452,836	19.0
チルド食品類	103,354	17.7	102,157	17.4	417,185	17.5
ビール類	56,581	9.7	53,863	9.2	219,141	9.2
その他酒類	47,032	8.0	44,407	7.5	190,144	8.0
その他	29,664	5.1	29,946	5.1	126,176	5.3
合計	584,953	100.0	587,670	100.0	2,383,064	100.0

(2) 業態別売上高明細表

(百万円未満切捨)

業態	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
卸売	51,394	8.8	49,090	8.3	209,873	8.8
GMS	44,536	7.6	48,784	8.3	186,246	7.8
SM	225,007	38.5	221,917	37.8	914,014	38.4
CVS	171,679	29.3	177,488	30.2	706,848	29.7
ドラッグストア	24,188	4.1	25,430	4.3	98,511	4.1
ユーザー	15,296	2.6	14,856	2.5	63,138	2.6
その他直販	44,279	7.6	42,113	7.2	173,664	7.3
(直販計)	524,987	89.7	530,591	90.3	2,142,423	89.9
メーカー・他	8,570	1.5	7,989	1.4	30,766	1.3
合計	584,953	100.0	587,670	100.0	2,383,064	100.0

(注) 1. GMSはゼネラル・マーチャンダイズ・ストアの略で、総合スーパーであります。

2. SMはスーパーマーケットであります。

3. CVSはコンビニエンスストアであります。

4. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。